

県弓連役員  
支部長

各位

令和2年9月10日

## 支部対抗競技会終了報告と

### 10月以降の行事（特に審査会）について

長野県弓道連盟  
会長 外菌公毅

日頃は県弓連の運営にご理解とご協力いただき、御礼申し上げます。

4月以降中止続きだった県弓連行事でしたが、9月6日支部対抗競技会を実施しました。

コロナ渦中に行うリスクはありましたが、来年もコロナ共存での大会、審査会が予想されることを見据えての決断でした。競技部を初め主管の飯伊支部の関係者には細心且つ万全の策を講じて準備していただきました。しかい長野県の感染状況は思わしくなく、いつ中止の指令を出すことになるかとひやひやの毎日でした。

無事終了できましたことに心よりお礼申し上げますと同時に各支部には参加、不参加にかかわらず苦渋の決断をさせたことに大変申し訳なくお詫び申し上げます。

さて、支部対抗射会の翌日7日に全弓連理事会が行われ、懸案の10月以降の地方審査会の方向性が示されました。詳細は各支部に配信しますが、結論から申し上げますと式段以下審査会はビデオ審査のみとなりました。

6月にビデオ審査については、長野県は行わないというお知らせをしましたが、それは10月以降、これまでの審査に何らかのコロナ対策ガイドラインが示されて実施されるという前提があったからです。その準備は審査部で既に作成していました。

これから早速、審査部、ジュニア部、各支部と協議し、ビデオ審査受審者、ビデオ審査方法、などを調査し、その調査結果から9月末には10月以降の審査会の計画を立てたいと思います。

調査内容については事務局より関係部署にお願いがあるかと思いますが、よろしくご協力をお願いします。

以上